



小小連携：合同心肺蘇生法講習会（水沢小学校と馬場小学校）写真の説明は5ページ



「どうする〇〇」

学校教育課学事係 佐藤 孝

今年度学校教育課に異動してまいりました佐藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は「NHK大河ドラマ」が好きです。特に戦国時代が舞台となっている作品が好きです。ちょうど今年は「どうする家康」が放映されており、毎週欠かさず見ております。

松本潤扮する主人公の家康が、ほぼ毎回「どうする〇〇」と選択を迫られ、常に正しい選択ばかりでは無く、誤った選択のため窮地に追い込まれることもあるというストーリーです。係長1年生で右も左もわからない中、日々の業務に迫られ「どうする係長」と選択を迫られる、この春からの自分と重ね合わせて、ハラハラドキドキしながら鑑賞しております。

さて、「どうするこれからの小中一貫教育」ということで、昨年度多くの方々に携わっていただき、これまでの取組と現状を踏まえ、これからの十日町市の小中一貫教育が充実したものとなり、十日町市が目指す子どもの姿の実現により近づくために「小中一貫教育基本計画」を改訂しました。

また、毎年度改訂している「小中一貫教育実施計画」についても、今年度から体裁を改め、より見やすく分かり易い形に改訂しております。

最後になりますが、今年度の重点取組として「自己有用感を育む取組」があります。「どうする係長」と言われるのは、他者から必要とされている（≡人の役に立つ）から言われるのであり、そう自分に言い聞かせることにより、日々、自己有用感を育てております・・・。

教育相談班より

■「不登校・いじめの減少」に向けて

□子どもとともに1・2・3運動の実践をお願いします！

不登校への初期対応として「子どもとともに1・2・3運動」をお願いします。

欠席1日目：欠席家庭に連絡し、保護者または本人から状況を聞く。

2日目：児童生徒の具体的な状況を電話等により把握する。

3日目：家庭訪問を実施し、保護者または本人と面談する。

□認知したいじめの解消に向け、見守り活動を継続していますか？

いじめは単に謝罪をもって安易に解消とすることはできません。いじめが「解消している」状態とは、少なくとも次の2つの要件が満たされている必要があります。

① いじめに係る行為が止んでいる状態が相当の期間継続していること

→ 少なくとも3か月を目安とする。

② 被害児童生徒が心身の苦痛を感じていない状態になっていること

→ 被害児童生徒及び保護者に面談等で確認する。

学校は再発防止に向け、**継続的な見守り**をお願いします。

■「特別支援教育の充実」に向けて

□特別支援学級に在籍する児童生徒の「特別支援学級の授業時数」は守られていますか？

特別支援学級

障がいのある児童生徒が、年間を通じてその学級において活動することを前提として編制され、障がいに応じた指導が行われるもの。

交流及び共同学習

障がいのある児童生徒の交流先の学級での活動を特別支援学級担任がサポートするなど、適切な指導体制を整えられる範囲で実施される必要がある。

これらを総合的に勘案し、**原則として、特別支援学級においては、週の授業時数の半分以上の授業を行うことが目安**とされています。

□「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用していますか？

個別の教育支援計画

障がいのある児童生徒等一人一人の教育的ニーズを踏まえ、長期的な視点で幼児期から学校卒業時までを通じて、一貫した支援を行うことを目的として作成。

個別の指導計画

個々の児童生徒の実態に応じた適切な指導を行うため、多様な学びの場で編成されている教育課程を具体化し、指導目標、指導内容及び指導方法を明確にして、適切かつきめ細かに指導することを目的として作成。

「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」は、以下の場合に作成・活用が求められています。**保護者面談を通じて見直しながら活用**を進めてください。

◆ 特別支援学校に在学する児童生徒・・・作成・活用の**義務**

◆ 特別支援学級に在籍する児童生徒・・・作成・活用の**義務**

◆ 通常の学級に在籍しながら通級による指導を受ける児童生徒・・・作成・活用の**義務**

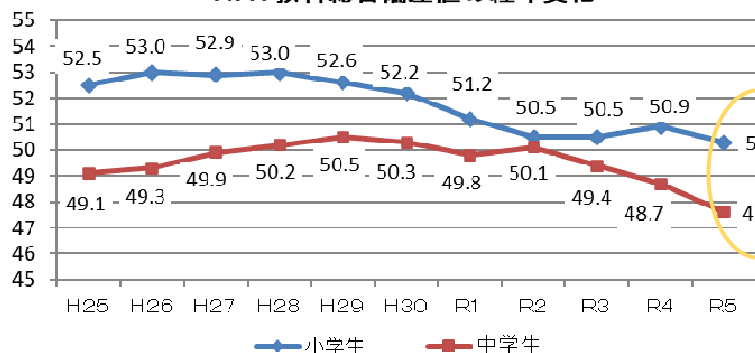
◆ 通常の学級に在籍している障がいのある児童生徒（通級指導は受けていない）・・・作成・活用に**努める**

学習指導班より

NRT標準学力検査の結果から

4月に実施したNRT標準学力検査の市内の結果がまとまりました。

NRT教科総合偏差値の経年変化



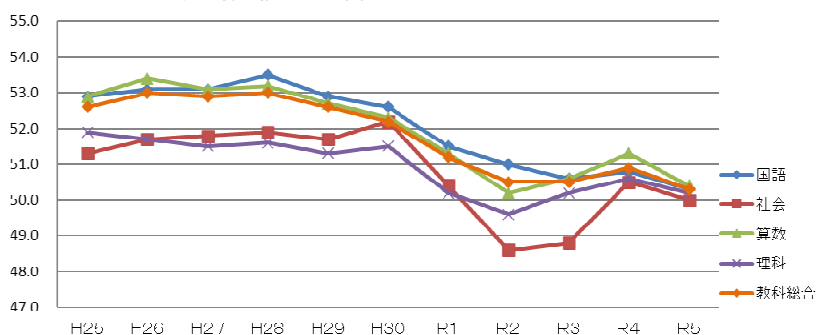
【小学生】

総合偏差値 50 以上は維持されていますが、前年度より 0.6 ポイント下がりました。

【中学生】

令和 3 年度以降、総合偏差値は 50 を下回るとともに、前年度より 1.1 ポイント下がりました。

小学生 NRT各教科の偏差値の推移



【小学生】

①全教科で偏差値が低下し、特に算数が前年より 0.9 ポイント低下となりました。

②教科間の差は、ほとんどありません。

③全教科ともに 50 を上回っています。

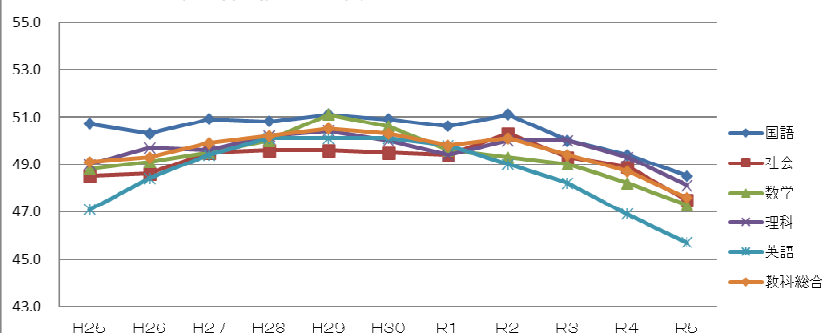
【中学生】

①R 4 と同様に、各教科で前年度の数値を下回りました。

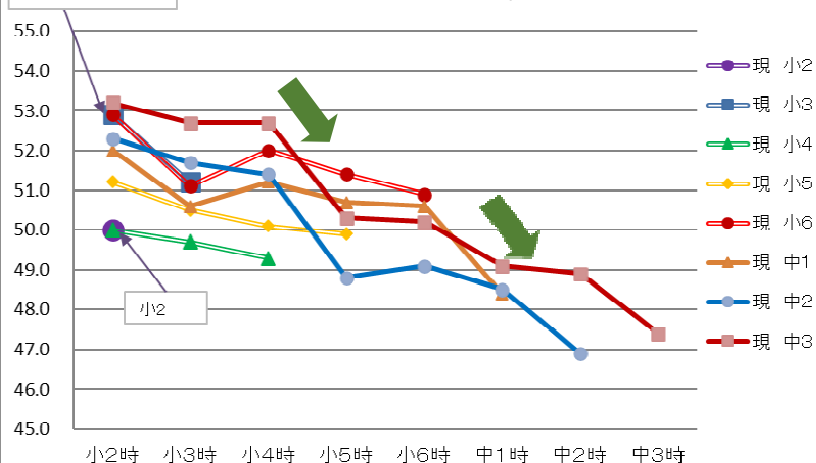
②全教科で、偏差値 49 以下です。

③特に、社会・数学・英語の偏差値が低い状況が見られます。

中学生 NRT各教科の偏差値の推移



同一集団の教科総合偏差値経年変化（現小2～中3のデータ）

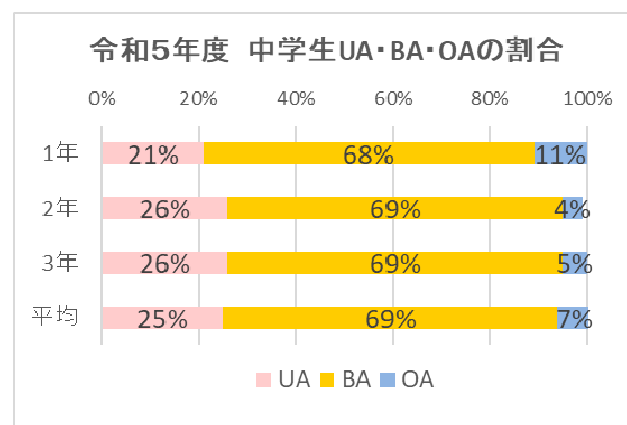
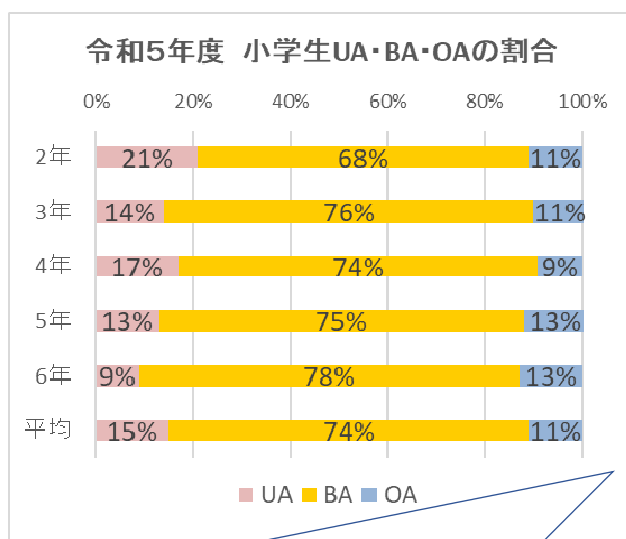


同一集団の結果を見ると、学年が上がるにつれて、総合偏差値が下がっています。

①小2の偏差値が低くなり、本年度は 50 でした。全体の総合偏差値に影響している 1 つの要因です。

②小学 4 年生から低下する傾向が見られます。

③中学生での低下傾向が大きいです。



UA: 知能検査の結果から期待されるものよりも学力が低い
 BA: " と学力のバランスがとれている
 OA: " から期待されるものよりも学力が高い

NRTの総合偏差値の推移とともに、令和4年度よりUAの割合を16%以下（全国平均）にするという目標も重要視しています。

小学生全体では15%と目標値を達成しましたが、小学2年生で21%、4年生で17%となっています。

中学生では、今年度より初めて全学校・全学年でUAなどの割合を算出しました。全体でUAの割合が25%となっており、まだまだ学力が高まる期待があります。

NRT 学力検査の結果のみが学力のすべてではありませんが、NRTを始めとする各種学力検査の結果は、児童生徒の学力の定着の様子と自分の授業を改善するためのヒントを得る上で、重要な指標です。すでに各校で結果を丁寧に分析して、自校の課題を見出し、授業づくりの改善や工夫を図っていると思います。引き続き、児童生徒の学力の向上に向けて、日々の授業改善・授業づくりをお願いします。

さて、そうした中、6月26日に十日町小学校でエキスパート教員研修を実施しました。吉野 翔 教諭 から公開授業と講話をいただき、反転学習のノウハウを学ぶことができました。反転学習は、基本的内容のインプットを家庭学習で行い、授業ではそれを生かした応用発展的な学習を展開します。1つの学力向上の手立てになりますので、日々の授業づくりのヒントにしてください。

この研修の機会を有効に活用願います。

小中一貫教育

■ 小中一貫教育合同研修会（「居心地のよい学級づくり」全員研修会を兼ねる）

今年は、隔年で実施している「小中一貫教育合同研修会」の実施年に当たります。

今回は下の通り十日町市小中一貫教育の共通取組事項「居心地のよい学級づくりをベースとした自己有用感を育む取組の充実」にちなんだ内容とします。Zoomを使ったオンライン形式になりますので、各学校または各中学校区で参加形態を検討してください。（接続端末数は各校3台程度とします。）

○期日：8月3日(木)13:30～15:30 各校または中学校区でのオンライン接続開催

○内容：「一回目のWEBQUの結果について」

「居心地のよい学級づくり2年目の取組～学校体制で取り組む学級づくり～」

○講師：早稲田大学客員教授 伊佐 貢一 様

学校教育課・教育センター事業のお知らせ ～8・9月～

日 時	内 容 ・ 会 場	備 考
8 月 3 日 (木)	全員研修会②（小中一貫教育合同研修会を兼ねる） 「居心地のよい学級づくり 2 年目の取組～学校体制で取り組む学級づくり～ 【Zoom オンライン】	講師：早稲田大学 客員教授 伊佐 貢一 様
8 月 4 日 (金)	郡市事務職員研修 「ロイロノートの使い方基礎基本」 「ICT 活用について」	講師：教育センター指導主事
8 月 4 日 (金)	特別支援教育基礎講座 「通常の学級における発達障害児の理解と支援」 【千手コミセン】	講師：千手小学校 教諭 五十嵐 潔美 様 対象：全ての教員
8 月 1 8 日 (金)	初任研ボランティア体験研修 【「森の学校」キョロロ】	対象：初任者研修対象者
8 月 2 1 日 (月)	英語・外国語活動授業力養成講座 【十日町情報館】	講師：教育センター指導主事 他 対象：小学校・中学校英語科担当教員
8 月 2 3 日 (水)	イングリッシュキャンプ 【千手コミセン】	指導者：外国語指導助手 他 対象：小学 5・6 年の希望者のみ
8 月 2 4 日 (木)	第 2 回 特別支援教育コーディネーター養成講座 「自立活動」 【川西庁舎】	講師：ふれあいの丘支援学校 教頭 秦野 真一 様 教諭 藤木 美香 様 水沢小学校 教諭 桑原 智美 様 対象：特別支援教育コーディネーター 特別支援学級担任
9 月 2 0 日 (水)	第 3 回特別支援教育コーディネーター養成講座 「教育相談・保護者との連携」 【川西庁舎】	講師：ふれあいの丘支援学校 教諭 田口 一浩 様 県立川西高等特別支援学校 教諭 山澤 小百合 様 対象：特別支援教育コーディネーター 特別支援学級担任
9 月 2 9 日 (金)	エキスパートに学ぶ指導力向上研修会 「集団心理を通じた良好な関係性形成に関する研究～生徒指導～」 【川西中学校】	講師：川西中学校 教諭 中沢 覚 様

【表紙写真の説明】

令和 5 年 6 月 2 2 日（木）に、水沢小学校と馬場小学校の 5 年生 3 3 名で、心肺蘇生法講習会を実施しました。新潟 PUSH プロジェクトに所属し、十日町地域消防本部にご勤務されている藤ノ木さん、渡邊さんを講師に迎え、胸骨圧迫と AED の使い方について講習を受け、「あっぱくん」を使って 2 人 1 組のペアで実技練習をしました。馬場小と水沢小の児童がペアになったところでも、お互いに声を掛け合いながら、協力して取り組む姿が見られました。各学校の児童が感想と講師へのお礼の言葉を発表すると、会場は温かい拍手で包まれました。地域・学校で協力し、命を大切にする心を育てるよい機会となりました。